



WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>

6 月 号

令和3年5月31日

横浜市立東中田小学校

校長 天野 直美

TEL.802-0500 FAX.801-4089

ICT を活用した学習

副校長 阿久井 勲

「GIGA スクール構想」に基づき、全国で1人1台の情報端末の整備が進められています。本校でもタブレットの整備が完了し、今までは、パソコンを使った学習をパソコンルームで行ってきましたが、タブレットを使って教室で行うことができるようになりました。これからは、環境整備を終えて、実際に授業の中で活用していく場面が多くなってきます。

これまでの学習では、教師が説明したり教えたりするインプットが中心となる場面が多ありましたが、ICT 機器を活用する学習では、子どもが主体的に学び、学んだことを表現するアウトプットに重点を置き、自発的に調べたり考えたことを動画などを活用して表現したりすることができるようになります。教師の質問に対して、挙手をして何人かが考えを発表してきましたが、一人ひとりの考えを画面を見て知ることができることにより、より多くの考えを共有することができるようになります。

例えば、算数の計算方法を考える学習では、子どもたちが自分の考えをタブレット上にアウトプットし、次に、みんなの考えをタブレット上で確認して共有します。そして、なぜそのように考えたのかをペアやグループで学び合っていくことで、様々な考え方を子どもたち自身が学びとることができるようになります。理科では、実験の様子を動画に撮り、その画面に気づいたことや自分たちの考えを書き込んで共有したり、説明し合ったりして科学的思考を深めていくことができます。総合的な学習では、SDGs の目標について調べたり、具体的な活動について調べたりして、自分たちにできることを考え話し合い、学習を進めていくことができます。

ICT を活用した学習は長期休業になったときに授業の放映を見るということだけでなく、子どもたち自らが課題に取り組み、タブレットを介して成果を発表したり、学び合ったりしていくことができます。子どもたちは、環境さえできればすぐに ICT に適応し楽しく学んでいくことができると思います。ICT の活用は、まずやってみることが何より大切であり、使い始めてみると、教師も子どもたちも便利で効果的なツールであることに気づき、活用の仕方はどんどん広がっていくでしょう。

ICT を活用した学習とこれまでの効果的であった学習を使い分けて、子どもたちの学びをしっかりと支えていきたいと思ひます。

